



広報ざいだん

2018年(H30)2月 No.10

公益財団法人 茄子川地域振興財団 中津川市茄子川1317-4 TEL0573-68-5655

『里山のめぐみ』

源根の森に蓄えられた水は、坂本地域住民に大切な恵の水であります。

しかし、この源根の森は浅く、弱い山肌であるため、保水能力に乏しく限界があります。

そのため、先人の努力による里山保全の継続的な維持管理による森林地の安定化と災害防止に努めながら、併せて農業用水・生活用水の確保に努め、今日の茄子川地域の発展があるものであります。

財団では、地域の安全な暮らしを守るため、国県にことある毎に治山工事の要望、陳情を重ね、御支援を賜わりながら着実に災害防備に努めて来ました。

源根里山は、訪れた人々に森林力により安らぎと潤いを与えてくれる大きな財産であります。

公益財団法人 茄子川地域振興財団
理事長 原 勝 治

(100年林の中にある坂本川源流標示)



坂本川の源流は、源根の森から湧出しています。

茄子川財団の里山の維持管理と公益財団の責務

里山の維持管理

里山の維持管理には、以前のように林業が産業として成り立つ時代とは大きく様変わりし、林業での収入は皆無の時代で、公及び私人でもその維持管理の財源は乏しく、森林は荒廃の一途にあります。

それでありながら、森林の多様機能は、環境の21世紀として、その注目を浴び「環境の保全」「水源涵養」「災害の防止」「二酸化炭素の吸収源」等その有益機能を認めながら、その機能の再生化にはなかなか財政の支援が及ばず、その取り巻く状況は改善、改革のない牛歩の状況下にあります。

しかしながら茄子川財団では、設立以来80余年に亘って『山を守ることが、住民を守ること』という基本理念を柱に、自己資金（財源）を確保し里山森林を守ってきました。今後も住民の誇れる『源根の里山森林』の維持管理に努めてまいります。



源根の森空撮

割山組合員による里山保全整備作業風景



境界確認作業



分割山の標示



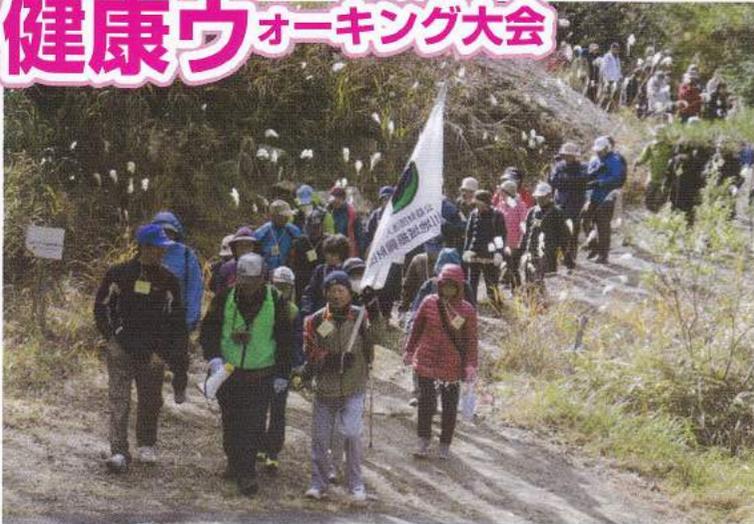
事業紹介

公益財団法人茄子川地域振興財団で定款に定める公益目的事業を積極的に進めてまいります。公益法人は、不特定多数の利益の増進への寄与を目的として運営されております。茄子川財団では、その本旨にそって次の事業を進めています。

- ① 里山を活用した保健及び文化事業
- ② 親子での里山体験学習事業
- ③ 高齢者スポーツ活動、レクリエーション活動事業
- ④ その他 公益目的に係る事業の推進

高齢者福祉、健康増進事業

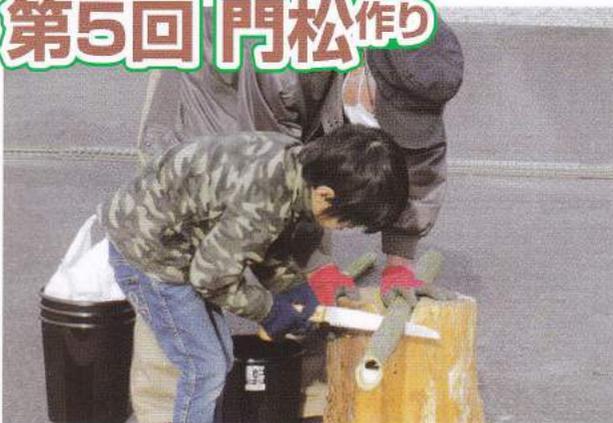
健康ウォーキング大会



親子・高齢者等の参加者135名で源根の森周辺コースでウォーキング大会を行いました。

里山体験学習事業

第5回 門松作り



例年の行事として年々参加者も増加し、45組（58名）の参加となりました。

里山の木の実にリース作り



リース作りも定着し、正月用飾りとして女性に人気の催物となりました。

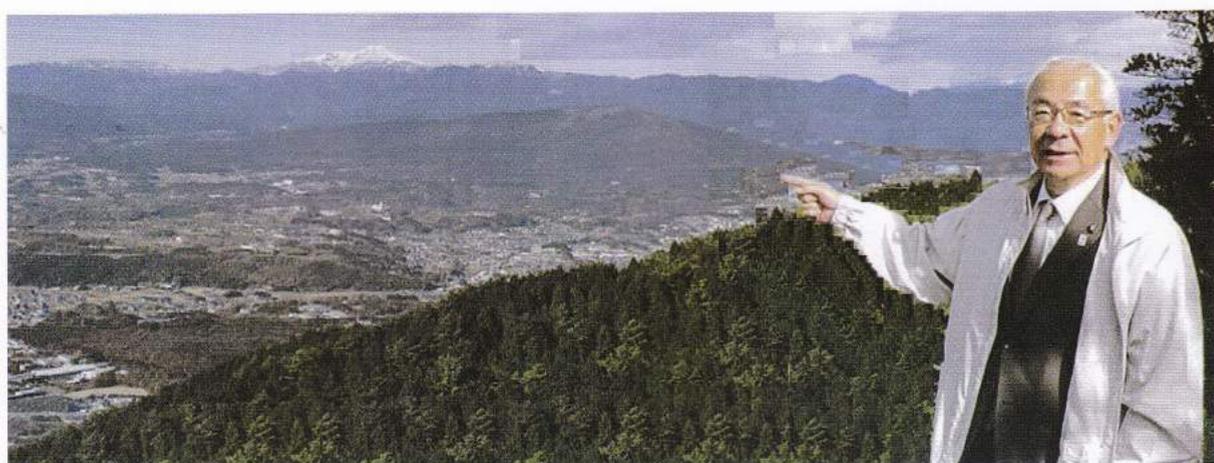
リニアの見える展望台(仮称)

源根里山にある保古山は、標高約930mにあって、坂本市街地、中津川市、恵那市の一部が遠望できる絶景地です。

この山からは、2027年開通予定のリニア中央新幹線の地上走行が眼下に一望できる中津川市唯一の拠点です。

財団では、リニアの見える展望台と位置づけ東屋建設を平成30年度事業として、中津川市及び県の財政支援をいただき進めていきます。

この展望台は根の上高原と結ぶ観光スポットとして将来期待されています。



坂本の絶景と青山市長

里山の植物 シリーズ No.6

里山「源根の森」にある、植物をご紹介します。



ウツギ (空木、卯月)
(アジサイ科ウツギ属)

落葉の低木でほとんどの場合株立ちし、高山2~3mくらいとなります。日当たりの良い林縁に多い。樹皮は灰褐色で、短冊状にはがれます。



花は初夏に同錐状の花序を出して、径2cmほどの白色の5弁花を横向~下向きに多数つけます。

「♪卯の花のおう垣根に、ほととぎすはやも来鳴きてしのび音(ね) もらす夏は来ぬ」の歌はよく知られています。

『里山の植物』は毎回シリーズでご紹介します。